



憲法・平和、くらしを守る力

さらに大きく



決意あらたに

日本共産党

二〇〇六年の幕あけです。

各地で庶民増税、医療改悪許すな、米軍基地の押しつけ反対、憲法9条を守れの運動が広がっています。

日本共産党は、自民、公明の小泉政治と対決し憲法9条を守るたたかいとともに、すべての国民が希望をもつて暮らせる政治の実現めざします。

地方自治体の役割を発揮して平和とくらしを守るため今年もみなさんと力を合わせがんばります。

青年雇用

「安定した仕事を」「人間らしく働きたい」との青年の願いは本心に切実です。

党区議団は今議会でも、ヤングジョブセンターの継続と機能拡大をくりかえし求めるとともに、中小企業などへの青年雇用助成金制度を提案。また仕事探しや労働条件などあらゆる雇用問題の相談と解決をはかる「ワンストップ」窓口の設置などを要求しました。

区は、フリーター、ニートの就労支援を実施するための施設を東京芸術センター（旧庁舎跡地）八階に開設する方向を示しました。

耐震補強 工事に助成

党区議団は、震災対策の一つとして住宅改良助成制度を耐震診断だけでなく、耐震補強工事にも利用できるようくりかえし議会で求めてきました。

前議会では、「助成制度の充実」の検討を約束、今議会で条例が改正されました。個人住宅に対する耐震補強工事や、自己資金でも助成がうけられるようになり、震災対策が大きく前進しました。

今年もみなさんと力あわせがんばります！

氏名・団役職	住 所
区議団長 鈴木けんいち	《自宅》 足立区青井一四一〇 五八八八三三三
幹事長 ぬかが和子	《自宅》 足立区伊興一五一三 三八八五四七二五七
政調委員長 針谷みきお	《事務所》 足立区西伊興四一七七八 三八八五二五八七
副幹事長 大島 芳江	《自宅》 足立区千住四一六二八 三八七〇三九二
副幹事長 伊藤 和彦	《自宅》 足立区花畑六七一三三 三八五九六九五
政調委員 渡辺 修次	《自宅》 足立区佐野二一六二二一〇四 三六〇五七六六
政調委員 鈴木秀三郎	《自宅》 足立区日ノ出町二七三二二〇 三八八三三九三
政調委員 橋本ミチ子	《自宅》 足立区梅田六一四二二 三八八六七三三
政調委員 さとう純子	《自宅》 足立区江北七二二二二 五五九二五九五
政調委員 三好すみお	《事務所》 足立区東和四一六四 二二六〇四七三
団ニュース編集委員 松尾かつや	《自宅》 足立区島根四一六三二〇三 五二四二八六四〇



都議会議員・都議団長
渡辺やすのぶ

《事務所》
足立区千住龍田町八一
五八八二二二二

日本共産党

足立区議団ニュース

2005年第4回定例区議会報告

発行所
日本共産党足立区議団
足立区中央本町1-17-1
足立区役所内
発行責任者 鈴木けんいち
編集責任者 伊藤和彦

みなさんのご意見をおよせ下さい

新年度の予算要望にいかします。

区議団 Tel.03-3880-5770 Fax.03-3880-5682

足立区議団メールアドレス acmp@blue.ocn.ne.jp

足立区議団のホームページ <http://www.adachi-jcp.jp/>

みなさんの 声を力に 明るく希望のもてる 区政めざして 日本共産党

日本共産党は十二月議会で、国の「税制改定」による影響は、住民税や所得税の増税にとどまらず保険料値上げなど、区民には二重にも三重にも負担増となることを明らかにしました。切実な区民の声をとりあげ、負担軽減策の実施など求め奮闘しました。

「介護保険料あげられたら生活やっていけない」

安心できる高齢者の介護を支えるべき介護保険の保険料を一・五倍も値上げする案が区から示され、区民から大きな不安の声があがっています。

区が行った公聴会では「困る」「値上げしないで」の声が続出。街頭でも「これ以上あげられたら生活やっていけない」とつぎつぎ署名が寄せられる状況です。

日本共産党は、保険料は値上げすべきでないと財源も示して主張しました。

一月二四日の介護保険専門部会は、現在の介護保険料（基準月額）三二〇〇円を四三八〇円に引き上げる答申をまとめました。

しかし、この答申を受けて区長が値上げ議案を提出するのは、二月二二日から三月議会です。引き続き値上げしないよう求めてがんばります。

「三〇人以下学級で 楽しい学校に」

中央教育審議会の特別部会が最終報告を行ないました。

そのなかでは「少人数学級」の効果についての全国のアンケート結果が示され「学級編成人数を引き下げた方が効果的である」は、「とてもそう思



えー!ひどい 夏休み短縮

教室にクーラーをつけるから夏休みが短くなるなんて誰が決めたの? やめてよ。(中学1年生・男子)

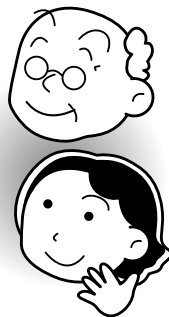
う「そう思う」との回答が小学校八一・八%、中学校八六・〇%となっています。日本共産党は、このデータも示して少人数学級の実現を求めました。

今議会には、「三〇人以下学級を求める」三件の請願・陳情が提出されました。

前議会に続いて自民・公明がまた反対しましたが、日本共産党は実現するまでねばり強くがんばります。

議会傍聴した 障害者より

「障害者自立支援法のこと、よく取り上げてくれた。うれしい」
「負担増の不安いっぱいです」(男性)



ぜんそく患者のインフル エンザ予防接種に助成を

公害患者のぜんそく発作は、命に関わる問題です。国はインフルエンザ予防接種補助について通達を出し、二三区中すでに九区が実施、四区は来年度実施を決めています。

足立区の対象者は約五〇〇人。国の補助もあり、区の負担はわずか年間二七万円程度でできるものです。早急に行うべきと強く求めました。

商店の願いを応援して

区は看板・ひさしなどの調査を行い、道路占用料として商店街などにお金を請求しています。

長引く不況、大型店の出店などにより、区内小売業者の置かれている状況は大変深刻です。これに追い討ちをかけるような請求に「お金をとるのはやめて」と商店街から陳情がだされました。

区議会で審議されましたが、自民・公明・民主はこうした声に耳を傾けず、「お金をとるのは当然」と主張し、商店の願いに背をむけました。

耐震偽装の問題で 緊急申し入れ……

耐震強度偽装問題で、区内のマンション住民から、党区議団にも不安の声が寄せられています。

一月二日、日本共産党は、鈴木区長に対し自治体としての責務を果たし、①相談窓口の充実、また、担当職員も増やすこと。②建築基準法改定（八一年以降の住宅も住宅改良助成事業の耐震



診断の対象とし助成額を増やすこと。③国に対し、事件の原因究明、厳正な処分、検査体制の見直し強化、被害者への生活支援など意見を上げること

を緊急要請しました。

公明党前区議 区民保養所汚職事件

特別委員会は終了したが 課題は残されている

公明党前区議が有罪判決を受けた汚職事件に関して設置されていた調査特別委員会は、12月13日で終了しました。

日本共産党はこの最後の委員会で、次のような課題が残されていることを指摘しました。①委託業者を変更する必要はなかったのに、「勇駒」先にありきで業者変更を行った可能性があり、元部長がなぜこのような行動に出たのかの解明と改善策②300万円のワイロが委託代金に上乗せされて支払われた可能性と「適正価格」の問題③公明党前区議と区元部長以外にも関与した者がいた可能性がありその解明と対策④区が打ち出した「コンプライアンス（法令順守）推進計画」は、根本的な再発防止策となりえず限界があることなどです。

今後こうした課題は議員政治倫理検討委員会に引きつがれ検討される方向です。

住区センター有料化『中止して』の声

9月議会で住区センター有料化条例が自民・公明・民主の賛成で決まり、区は今議会の補正予算で「今年度120万円の収入」が見込めると提案しました。これは来年1月から、4月以降の予約分の徴収が始まるためです。

有料化を知った利用者からは「いつ決まったの」「やめてもらいたい」と怒りの声があがっています。日本共産党は「このままでは、サークルをつづけられない」など区民の声を無視し、コミュニティ育成の目的にも反すると指摘して、有料化に反対しました。